

エコアクション 21

# 環境経営レポート

2022年度版

(環境活動期間:2022年4月 ~ 2023年3月)

作成日:2023年 10月 19日



株式会社 大北リサイクル

# 環境経営方針

## ＜基本理念＞

当社は、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって継続的に、環境保全活動に取り組めます。

また、この活動に取り組む事により、宇治茶の郷である我が街和東町の、後世に残すべき美しい茶畑風景を守ってまいります。



## ＜環境保全への行動指針＞

1.具体的に次のことに取り組めます。

- ①電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②自動車・重機の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ③廃棄物排出量の削減
- ④水資源の節水
- ⑤地域及び行政機関との連携による社会貢献

これらについて環境経営目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2.環境関連法規制や当社が約束した事を順守します。



®環境省  
エコアクション21  
認証番号0007589

制定日：2010年12月1日  
改定日：2020年6月14日

代表取締役社長

金沢 寛治

## ○組織の概要

### (1) 名称及び代表者名

株式会社 大北リサイクル

代表取締役社長 金沢 寛治

### (2) 所在地

本 社

〒619-1212 京都府相楽郡和束町釜塚前田21番地

TEL:0774-78-3839 FAX:0774-78-3304

大北リサイクルセンター

〒619-1222 京都府相楽郡和束町白栖大狭間26番地5

TEL:0774-78-5005 FAX:0774-78-5005

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者

部長 飯田 修司

TEL: 0774-78-4153

### (4) 事業内容

一般廃棄物の収集運搬及び処分業(中間処理)

産業廃棄物の収集運搬事業

### (5) 事業の規模

法人設立年月日

2003年 6月 12日

資本金

1000万円

売上高

1億1000万円

	本 社	大北リサイクル センター	合 計
従業員数 (名)	4	10	14
延べ床面積 (㎡)	182.92	19998.66	20181.58

## 処理実績

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
一般廃棄物収集運搬量(t)	2773.7	2889.2	2032.1	2049.1	1991.9	1913.5
産業廃棄物収集運搬量(t)	2.3	10.7	2.4	11.2	9.5	2.8
収集運搬量合計(t)	2776.0	2899.9	2034.5	2060.3	2001.4	1916.3
中間処理量合計(t)	247.8	243.2	236.0	233.9	220.9	210.0
うち、再資源化量合計(t)	161.6	157.0	149.3	145.2	140.4	139.8

## 車両台数

### 本 社

車 種	台 数	備 考
軽自動車	1 台	使用燃料 ガソリン:1台
合 計	1 台	

### 大北リサイクルセンター

車 種	台 数	備 考
2tパッカー車	6 台	使用燃料 軽油:6台
2tダンプ車	4 台	使用燃料 軽油:4台
3tコンテナ車	2 台	使用燃料 軽油:2台
軽自動車	2 台	使用燃料 ガソリン:2台
バックホー	1 台	使用燃料 軽油:1台
タイヤショベル	1 台	使用燃料 軽油:1台
フォークリフト	2 台	使用燃料 軽油:1台 ガソリン:1台
合 計	18 台	

## 主要設備

### 大北リサイクルセンター

名 称	台 数	能 力	備 考
計量器	1 基	最大秤量40t	2020年11月更新
破袋機	1 機	200kg/h	
プラスチック圧縮機	2 機	80kg/h	
ペットボトル圧縮機	1 機	100kg/h	
空き缶圧縮機	1 機	260kg/h	
空き缶選別機	1 機	1000kg/h	
合 計	7 台		

(6) 事業年度

6月 ~ 翌年5月

○認証・登録の対象組織・活動

登録組織名

株式会社 大北リサイクル

関連事業所

本社

大北リサイクルセンター

活動内容

一般廃棄物の収集運搬及び処分業(中間処理)

(公共事業の指示に基づく業務であるため、中間処理における環境目標設定は該当しません。)

産業廃棄物の収集運搬業

○産業廃棄物の収集運搬料金

収集場所、地域条件、品目等により異なります。詳しくは電話等でお問い合わせ下さい。

《お問合せ先》

京都府相楽郡和束町釜塚前田21番地

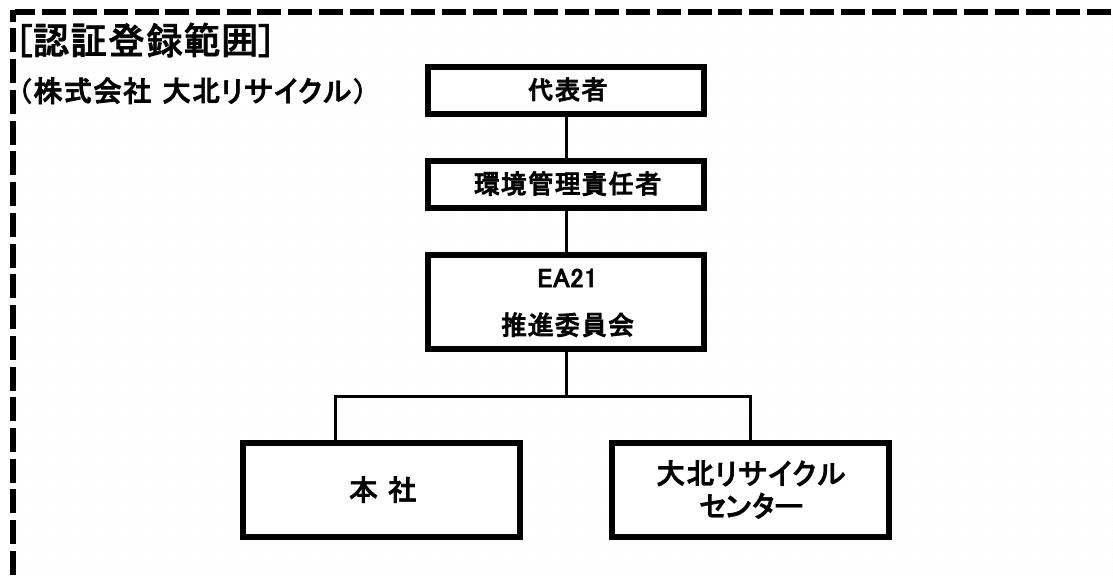
株式会社 大北リサイクル TEL:0774-78-3839 FAX:0774-78-3305

○許可・登録の内容

区分	種類	行政区	品目 (産業廃棄物の種類)							許可番号	許可の年月日 及び 許可の有効期限	
			廃 プラ 類	金 属 く ず	ガ ラ ス 陶 磁 器 く ず	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	ゴ ム く ず			が れ き 類
許可	一般廃棄物処理業	和束町	—							第3号	令和5年4月1日 令和7年3月31日	
許可	一般廃棄物処理業	笠置町	—							第1号	令和4年4月1日 令和6年3月31日	
許可	一般廃棄物処理業	南山城村	—							第2号	令和5年5月8日 令和7年5月9日	
許可	産業廃棄物収運業	京都府	●	●	●	●	●	●	●	●	第02600134612号	令和4年3月27日 令和9年3月28日
許可	産業廃棄物収運業	三重県	●	●	●	●	●	●	●	●	第2400134612号	令和4年8月7日 令和9年8月8日
許可	産業廃棄物収運業	滋賀県	●	●	●	●	●	●	●	●	第2501134612号	令和4年7月30日 令和9年7月31日
許可	産業廃棄物収運業	奈良県	●	●	●	●	●	●	●	●	第02900134612号	令和4年3月27日 令和9年3月28日

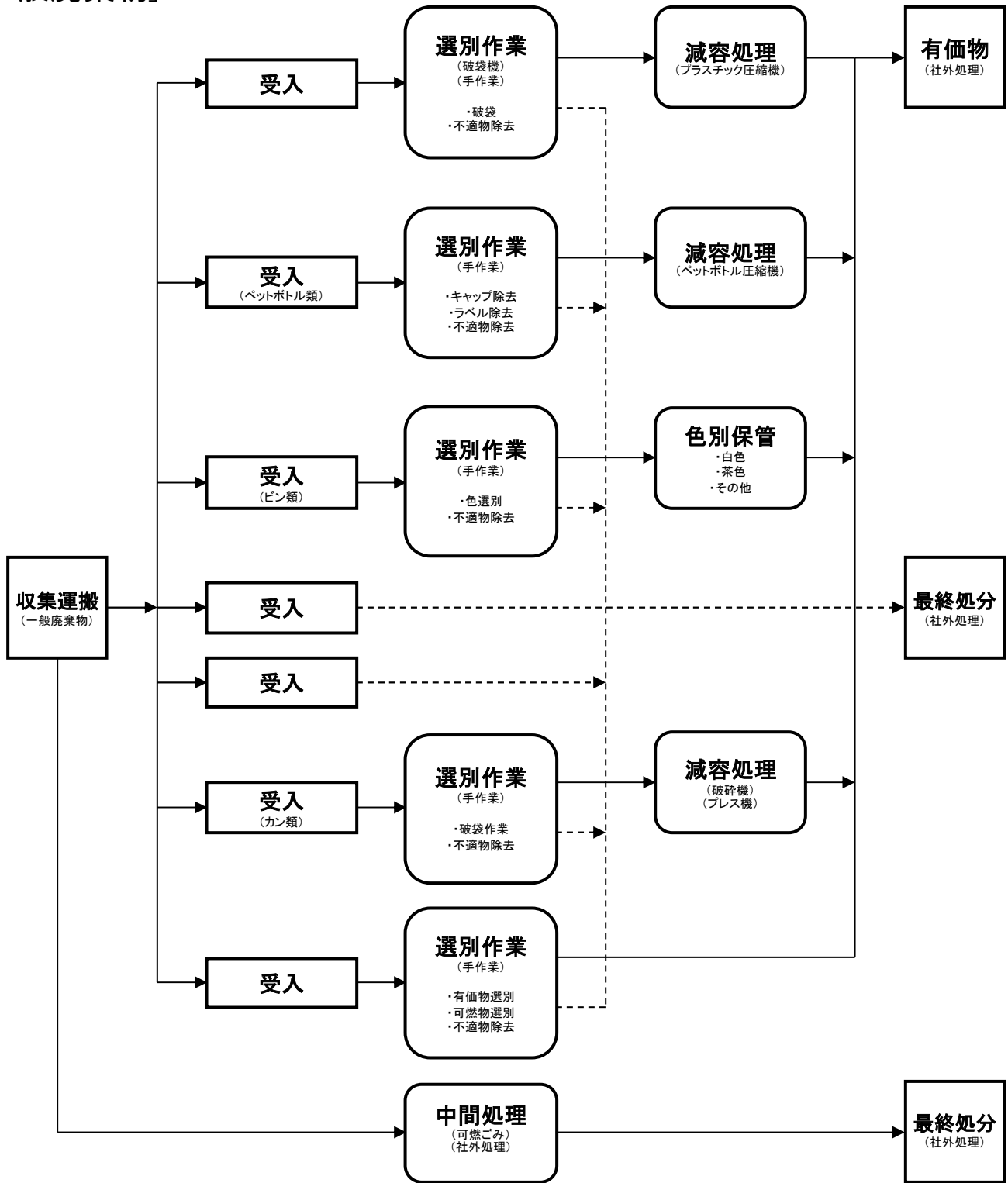
※ 積替え保管施設の面積・保管上限 ⇒ 面積13,508㎡ 高さ 概ね2m以下

## ○環境経営管理実施体制図



	役割 ・ 責任 ・ 権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を作成</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境目標、環境経営計画書の作成</li> <li>・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・EA21推進委員会の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境経営活動の実績集計</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営システムの実施</li> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成及びテスト、訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加</li> </ul>

[一般廃棄物]



[産業廃棄物]



## ○主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量 (※1)	kg-CO2/年	73090	77654	73352	75340
産業廃棄物処理量 (収集運搬量)	t/年	2	11	10	3
一般廃棄物排出量	kg/年	103	101	94	111
水使用量	m <sup>3</sup> /年	792	709	351	262
物質使用量 (コピー用紙の使用量)	kg/年	22	34	34	44

※1:電力の二酸化炭素の排出係数・・・0.334kg-CO2/kWh(関西電力、2018年度調整後排出係数)

## ○環境目標及びその実績

### ※電力の二酸化炭素排出量削減

項目		年度	2016年度	2022年度		2023年度	2024年度	2025年度
			(基準年度)	(目標) (基準年度比)	(実績) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)
電力の 二酸化炭素 排出量削減	本 社	kg-CO2/年	1443	1356 94%	1490 103%	1342 93%	1328 92%	1313 91%
	大北リサイクル センター	kg-CO2/年	5490	5161 94%	3360 61%	5106 93%	5051 92%	4996 91%
合 計		kg-CO2/年	6933	6517 94%	4850 70%	6448 93%	6378 92%	6309 91%

### ※燃料の二酸化炭素排出量削減

項目		年度	2020年度	2022年度		2023年度	2024年度	2025年度
			(基準年度)	(目標) (基準年度比)	(実績) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)
燃料の 二酸化炭素 排出量削減	本 社	kg-CO2/年	842	834 99%	1099 131%	825 98%	817 97%	808 96%
	大北リサイクル センター	kg-CO2/年	71974	71254 99%	69392 96%	70535 98%	69815 97%	69095 96%
合 計		kg-CO2/年	72816	72088 99%	70491 97%	71360 98%	70632 97%	69903 96%



## ○環境目標及びその実績

### ※一般廃棄物の削減

項目			年度	2015年度	2022年度		2023年度	2024年度	2025年度
				(基準年度)	(目標) (基準年度比)	(実績) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)
一般廃棄物の削減	本社	kg/年	63	59 93%	51 81%	58 92%	58 91%	57 90%	
	大北リサイクルセンター	kg/年	183	170 93%	60 33%	169 92%	167 91%	165 90%	
合計		kg/年	247	229 93%	111 45%	227 92%	224 91%	222 90%	

### ※水資源使用量の削減

項目			年度	2009年度	2022年度		2023年度	2024年度	2025年度
				(基準年度)	(目標) (基準年度比)	(実績) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)	(目標) (基準年度比)
節水	本社	m <sup>3</sup> /年	650	566 87%	36 6%	559 86%	553 85%	546 84%	
	大北リサイクルセンター	m <sup>3</sup> /年	222	193 87%	226 102%	191 86%	189 85%	186 84%	
合計		m <sup>3</sup> /年	872	759 87%	262 30%	750 86%	741 85%	732 84%	

## ○環境経営活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

具体的な取り組み	達成状況	評価（結果と今後の方向）
<b>(1) 電力の削減</b>	<b>達成</b>	
空調の適温化(冷房28℃程度、暖房20℃程度)	○	目標を達成することが出来ました。 省エネエアコンへの取替えなど、節電に貢献出来ているように思う。不要な照明もこまめに消灯できていた。 これからも目標達成できるように活動を継続させていく。
空調機器のフィルター清掃	◎	
事務室や作業場における unnecessary 照明の消灯	◎	
節電啓発シールの貼り付け	◎	
休憩室への断熱加工	○	
省エネ家電への順次更新	○	
<b>(2) 燃料の削減</b>	<b>達成</b>	
効率的な車両の運転管理	○	目標を達成することが出来ました。 アイドリングストップ等のエコドライブも浸透してきており、省エネ運転ができています。 走行距離が増加すれば燃料消費も増加するので、今後も収集ルート効率化や、帰り荷の活用で燃料の消費量を削減する。 これからも目標達成できるように活動を継続させていく。
アイドリングストップ運転	◎	
急加速・急停車の防止	○	
暖機運転時間の短縮	◎	
低燃費車への順次更新	◎	
省エネ暖房器具への順次更新	○	
<b>(3) 一般廃棄物の削減</b>	<b>達成</b>	
分別の徹底	○	裏紙の再利用が日常化しており、コピー用紙の購入及び廃棄が少なくなった。 新聞紙の古紙回収により大幅に排出量の削減が達成できた。 今後も継続して活動していく。
印刷物への両面印刷の実施	◎	
エコ商品への順次変更	○	
<b>(4) 節水</b>	<b>達成</b>	
トイレタンクにペットボトルを入れる	○	雨水タンクの水を利用した洗車や、洗車時の水の流しっぱなしを少なくしたり、節水啓発を行うことにより節水効果が表れている。 今後も継続して節水活動をしていく。
節水啓発シールの貼り付け	○	
雨水タンクの利用	◎	
<b>(5) 社会貢献等</b>	<b>達成</b>	
教育委員会主催の河原清掃活動への参加(随時)	◎	高齢者見守り活動など、継続してボランティア活動に参加することが出来ている。 今後も社会貢献が出来よう、会社としての信頼はもちろんの事、社員一人一人のレベルの向上を目指していく。
会社周辺地域の清掃活動	○	
高齢者見守り活動の実施	◎	

## ○環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物
容器包装リサイクル法	事務所や作業場から排出される一般廃棄物
家電リサイクル法	冷蔵庫、洗濯機、テレビ、エアコン
資源有効利用促進法	デスクトップ・ノートパソコン、液晶・CRTモニタ
自動車リサイクル法	営業用乗用車、ダンプトラック、パッカー車
悪臭防止法	施設、収集車両
消防法	施設、危険物取扱者
労働基準法	労働基準法の遵守
労働安全衛生法	健康診断等
道路運送車両法	収集運搬業務、通勤等
道路法	収集運搬業務、通勤等
道路交通法	収集運搬業務、通勤等
Nox,PM法	ダンプトラック、パッカー車
計量法	トラックスケール
騒音規制法	ダンプトラック、パッカー車
水質汚濁防止法	生活排水
フロン排出抑制法	重機、スポットクーラー
オフロード法	重機からの排気ガス
京都府環境を守り育てる条例	緑化の努力

(2) 違反・訴訟等

環境関連法規等への遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、関係当局よりの違反、訴訟等の指摘につきましても、過去5年間ございません。

## ○代表者による全体の評価と見直し・指示

### ※全体の評価

評価実施日: 2023年6月1日

項目	評価の内容
電力の削減	電力の使用量については、目標を達成することが出来ました。 このまま活動を継続していきます。
燃料の削減	燃料使用量の削減については、目標を達成する事が出来ました。 このまま活動を継続していきます。
一般廃棄物の削減	一般廃棄物の削減については、目標を達成する事が出来ました。 これからも両面印刷や裏紙の使用を推進し、廃棄物の分別を徹底しリサイクルへの取り組みを行い、廃棄物の削減を継続していきます。
節水	水道水の削減については、目標を達成する事が出来ました。 洗車時の雨水利用を積極的に実施し、これからも節水していきます。
社会貢献等	高齢者見守り隊活動も順調に推移しており、これからも安心して任せてもらえるような会社作りや社員教育を行なっていきます。

### ※見直し・指示

対象	変更の有無	見直しの内容・指示
環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更あり	特になし。
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更あり	特になし。
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更あり	特になし。

## ○環境経営活動や社会貢献活動等の紹介

### ○高齢者見守り隊事業への参加

2009年より、ごみ収集を通じて、京都府社会福祉協議会様の「高齢者見守り隊事業」に協力しています。



### ○環境に配慮した機器の使用

事務所内の蛍光灯を、消費電力の少ないLED照明に更新。CO2の削減に貢献しています。



### ○小学校の社会科見学に協力

小学生の社会科見学に協力しています。施設見学では、ゴミの分別やリサイクルについて、分かりやすく説明しています。



### ○雨水の活用による節水の実施

容量7,000リットルの雨水タンクを設置し、車両や重機の洗浄水として利用しています。



### ○本社での太陽光発電システム

太陽光発電システムを設置し、事務所で使用する電力を発電しています。令和4年度に発電した電力量は2792kWh。火力発電所で消費される石油に換算して年間で662リットル(4.22kWh/リットル)が節約できることとなります。これは二酸化炭素排出量で年間0.93t-CO2(係数0.334)の量に相当します。



○次回の環境経営レポートの発行予定は、令和6年 8月下旬頃です。